

現代と共鳴するカフカ

週のはじめに考える

「チャットGPTに頼る
2023.2.22 (再



新しい用語と出会う
通信技術 (ICT) の
この遭遇のようです。
スマートフォン。東

「チャットGPTに頼
二二二朝刊に掲載し
んの政治まんがのタイ
も見てなるほどと膝ま
が、編集局内では「チ
つて分かるかな」と言
説明が必要と判断
は解説しないようにし
えました。紙面では「
知能 (AI)。人間と
るような文章を作成す
ます。

小中高校生たちに「確かな読解力」を身に
つけてもらいたい。世の中の動きにも関心を
持つてほしい。新聞がその一助になればと、
東京新聞では、新聞切り抜き作品コンクール
を開催してききました。本年度も素晴らしい力
作がたくさん寄せられました。
子どもたちが幅広い視野で学ぶためには、

2023.3.5

行政による「王ヤモヤ」や「わさ
わさ」は、社会に同調圧や忖度を引
き起こすなど、為政者に都合のよい
空気を醸し出す。見え方のベクトル
は逆にもかかわらず、変えること
やっとしていることの本意を「まかせよ
い」点と回った。

行政による「王ヤモヤ」や「わさ
わさ」は、社会に同調圧や忖度を引
き起こすなど、為政者に都合のよい
空気を醸し出す。見え方のベクトル
は逆にもかかわらず、変えること
やっとしていることの本意を「まかせよ
い」点と回った。

行政による「王ヤモヤ」や「わさ
わさ」は、社会に同調圧や忖度を引
き起こすなど、為政者に都合のよい
空気を醸し出す。見え方のベクトル
は逆にもかかわらず、変えること
やっとしていることの本意を「まかせよ
い」点と回った。

行政による「王ヤモヤ」や「わさ
わさ」は、社会に同調圧や忖度を引
き起こすなど、為政者に都合のよい
空気を醸し出す。見え方のベクトル
は逆にもかかわらず、変えること
やっとしていることの本意を「まかせよ
い」点と回った。

行政による「王ヤモヤ」や「わさ
わさ」は、社会に同調圧や忖度を引
き起こすなど、為政者に都合のよい
空気を醸し出す。見え方のベクトル
は逆にもかかわらず、変えること
やっとしていることの本意を「まかせよ
い」点と回った。

行政による「王ヤモヤ」や「わさ
わさ」は、社会に同調圧や忖度を引
き起こすなど、為政者に都合のよい
空気を醸し出す。見え方のベクトル
は逆にもかかわらず、変えること
やっとしていることの本意を「まかせよ
い」点と回った。

行政による「王ヤモヤ」や「わさ
わさ」は、社会に同調圧や忖度を引
き起こすなど、為政者に都合のよい
空気を醸し出す。見え方のベクトル
は逆にもかかわらず、変えること
やっとしていることの本意を「まかせよ
い」点と回った。

行政による「王ヤモヤ」や「わさ
わさ」は、社会に同調圧や忖度を引
き起こすなど、為政者に都合のよい
空気を醸し出す。見え方のベクトル
は逆にもかかわらず、変えること
やっとしていることの本意を「まかせよ
い」点と回った。

行政による「王ヤモヤ」や「わさ
わさ」は、社会に同調圧や忖度を引
き起こすなど、為政者に都合のよい
空気を醸し出す。見え方のベクトル
は逆にもかかわらず、変えること
やっとしていることの本意を「まかせよ
い」点と回った。

行政による「王ヤモヤ」や「わさ
わさ」は、社会に同調圧や忖度を引
き起こすなど、為政者に都合のよい
空気を醸し出す。見え方のベクトル
は逆にもかかわらず、変えること
やっとしていることの本意を「まかせよ
い」点と回った。

山田 健太
専修大学教授



時代を 読む

モヤモヤとわざわざで見失う真意

一方で進むのが私権制限や義務化
の政策決定だ。もちろん「フームス
ク」が解禁だが、あくまでも自主的
な判断を尊重するが、複雑した電車
では装着を推奨するとか、なかなか
ややこしい。コロナ禍の三年間、政
府が法的根拠や科学的知見もなく政
治判断で自粛を求めたり、緊急事態
だから個人情報も自由に収集した
りすることを、社会全体でいやにな
くしてきて。その解除も、理詰
めではない政府方針を何となく受け
入れることになりそうだ。

マイナポイントカードも申請率が
七割を超え、「皆所持」に向けて力
が入るが、任意でもって強制しない
といことと、さまざまな局面で矛
盾する。国や自治体の情報をマイナ
ンバーですべてひもつけることが可
能となり、デジタル法制による一元
化と効率化を旗印にした国のIT化

しかし、二〇二〇年に市が実施し
た調査で、原爆投下日時の正確率が
小学生三割、中学生で半数にとどま
ったことから、被爆体験の風化や生
徒の平和意識の低下を食い止める施
策として、広島市教委は新たに「平
和教育プログラム」を策定した。一
三年の当初から「ゲン」を採用して
きたのは、当時の真相が漫画を通じ
て感じられたからと推察される。

広島市内の小学校低学年向け副教
材「ひろしまくわいわノート」から
「ぼたしのゲン」が消えることにな
った。広島では戦後一貫して平和教
育が実施されており、筆者も体験者
の一人である。ただし、一九六〇年
代当時は先生自身が直接の体験者で
あったし、同級生に原爆手帳を持つ
胎内被爆者も少なくなく、普段の授
業や日常生活自体が「平和」の尊さ
を実感する時間であった。



子どもたちが幅広い視野で学ぶためには、